



## 平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 あい ホールディングス株式会社  
コード番号 3076 URL <http://www.aiholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(氏名) 佐々木 秀吉

(氏名) 吉田 周二

配当支払開始予定日

TEL 03-3249-6335

平成27年3月9日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	19,678	10.5	3,262	8.5	4,289	38.8	2,941	53.0
26年6月期第2四半期	17,813	10.8	3,007	29.3	3,090	26.5	1,923	44.8

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 3,412百万円 (46.6%) 26年6月期第2四半期 2,143百万円 (26.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	62.11	—
26年6月期第2四半期	40.60	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年6月期第2四半期	41,486		29,192		70.4	616.36
26年6月期	37,621		26,605		70.7	561.73

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 29,192百万円 26年6月期 26,605百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年6月期	—	12.00	—	12.00	24.00
27年6月期	—	15.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	13.6	7,400	15.6	8,400	28.2	5,600	38.5	118.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 有

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期2Q	56,590,410 株	26年6月期	56,590,410 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年6月期2Q	9,227,732 株	26年6月期	9,226,814 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期2Q	47,363,148 株	26年6月期2Q	47,364,278 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による積極的な経済政策や金融緩和に伴う円安や株価の上昇等を背景として、企業収益や雇用情勢の改善等が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外において、米国経済は堅調に推移しているものの、欧州における景気低迷や中国及び新興国の経済成長の鈍化等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は196億7千8百万円（前年同四半期比10.5%増）となり、営業利益は32億6千2百万円（前年同四半期比8.5%増）、経常利益は42億8千9百万円（前年同四半期比38.8%増）、四半期純利益は29億4千1百万円（前年同四半期比53.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けセキュリティシステムの販売が、新規・リプレースとも、引き続き堅調に推移したこと等により、売上高は46億7千9百万円（前年同四半期比10.9%増）、セグメント利益は13億8千6百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

## ② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、鉄骨業界向けの専用CADソフトの販売が順調に推移したこと等により、売上高は17億6千1百万円（前年同四半期比15.6%増）、セグメント利益は5億円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

## ③ 保守サービス

保守サービスにつきましては、売上高は8億6千6百万円（前年同四半期比1.5%減）、セグメント利益は9千4百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。

## ④ 情報機器

情報機器につきましては、海外市場におけるコンシューマ向け小型カッティングマシンの販売が好調に推移したこと等により、売上高は65億3千6百万円（前年同四半期比23.7%増）、セグメント利益は7億6千4百万円（前年同四半期比30.3%増）となりました。

## ⑤ 計測機器及び環境試験装置

計測機器及び環境試験装置につきましては、販売は堅調に推移したものの、新製品開発に伴う研究開発費の増加等により、売上高は10億1千3百万円（前年同四半期比1.1%増）、セグメント利益は6千8百万円（前年同四半期比49.0%減）となりました。

## ⑥ 設計事業

設計事業につきましては、受注案件に工事進行基準適用が多かったこと等により、売上高は22億5千5百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益は2億3千9百万円（前年同四半期比28.5%減）となりました。

## ⑦ リース及び割賦事業

リース及び割賦事業につきましては、売上高は22億5百万円（前年同四半期比1.7%減）、セグメント利益は5千7百万円（前年同四半期比5.1%減）となりました。

## ⑧ その他

その他につきましては、売上高は3億5千8百万円（前年同四半期比4.5%減）、セグメント利益は1千6百万円（前年同四半期比52.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して38億6千5百万円増加し、414億8千6百万円となりました。主な要因は、流動資産の受取手形及び売掛金14億9百万円増加、有価証券（譲渡性預金）24億9千9百万円増加等であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して12億7千8百万円増加し、122億9千4百万円となりました。主な要因は、流動負債の支払手形及び買掛金13億1千万円増加等であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して25億8千6百万円増加し、291億9千2百万円となりました。主な要因は、四半期純利益29億4千1百万円の計上、配当金5億6千8百万円の支払、その他有価証券評価差額金2億2千4百万円減少、為替換算調整勘定4億2千1百万円増加等であります。この結果、自己資本比率は70.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、155億9千2百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億2千6百万円増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は12億3千8百万円(前年同四半期は11億7千1百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益42億2千6百万円、仕入債務の増加額10億4千万円、減価償却費1億9千7百万円等の収入に対し、法人税等の支払額16億3千8百万円、持分法による投資損益10億2千5百万円、売上債権の増加額12億5千万円等の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億5千7百万円(前年同四半期は3億7百万円の支出)となりました。これは主に、貸付金の回収による収入1億2千2百万円等の収入に対し、貸付による支出9千1百万円、有形固定資産の取得による支出3億4千万円、無形固定資産の取得による支出6千8百万円、投資有価証券の取得による支出9千万円等の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6億1千6百万円(前年同四半期は5億3千4百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額5億7千1百万円等の支出があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年11月11日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が23百万円減少し、利益剰余金が15百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円増加しております。

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「投資その他の資産」の「投資有価証券」に含めていた「関係会社株式」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「投資その他の資産」の「投資有価証券」に表示していた2,030百万円は、「投資有価証券」1,783百万円、「関係会社株式」247百万円として組み替えております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,200	13,126
受取手形及び売掛金	5,621	7,030
リース投資資産	785	808
有価証券(譲渡性預金)	—	2,499
商品及び製品	3,962	4,910
仕掛品	77	131
未成工事支出金	199	227
原材料及び貯蔵品	370	441
その他	1,813	1,799
貸倒引当金	△59	△35
流動資産合計	27,971	30,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,356	1,294
土地	4,287	4,287
その他(純額)	604	878
有形固定資産合計	6,247	6,459
無形固定資産		
のれん	414	347
その他	190	199
無形固定資産合計	605	546
投資その他の資産		
投資有価証券	1,783	374
関係会社株式	247	2,381
その他	888	941
貸倒引当金	△122	△158
投資その他の資産合計	2,797	3,539
固定資産合計	9,649	10,546
資産合計	37,621	41,486

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,479	5,790
未払法人税等	1,173	780
賞与引当金	144	202
製品保証引当金	18	19
受注損失引当金	9	4
その他	1,915	2,134
流動負債合計	7,740	8,931
固定負債		
退職給付に係る負債	1,068	1,070
資産除去債務	8	8
その他	2,198	2,284
固定負債合計	3,275	3,363
負債合計	11,015	12,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,049	9,049
利益剰余金	17,266	19,654
自己株式	△4,690	△4,692
株主資本合計	26,626	29,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	238	14
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△207	213
退職給付に係る調整累計額	△50	△47
その他の包括利益累計額合計	△20	180
純資産合計	26,605	29,192
負債純資産合計	37,621	41,486

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	17,813	19,678
売上原価	10,260	11,362
売上総利益	7,552	8,316
販売費及び一般管理費		
役員報酬	111	104
給料及び手当	1,452	1,569
賞与	273	305
賞与引当金繰入額	95	107
退職給付費用	89	85
その他	2,522	2,880
販売費及び一般管理費合計	4,544	5,053
営業利益	3,007	3,262
営業外収益		
受取利息	5	9
受取配当金	14	0
持分法による投資利益	9	1,025
為替差益	34	—
受取賃貸料	25	25
その他	14	16
営業外収益合計	105	1,077
営業外費用		
支払利息	1	2
為替差損	—	25
ゴルフ会員権評価損	5	—
貸倒引当金繰入額	8	12
雑損失	4	8
その他	2	2
営業外費用合計	22	51
経常利益	3,090	4,289
特別利益		
投資有価証券売却益	25	3
その他	—	0
特別利益合計	25	3
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	—	19
解体撤去費用	—	45
その他	—	0
特別損失合計	0	66
税金等調整前四半期純利益	3,115	4,226
法人税、住民税及び事業税	1,143	1,256
法人税等調整額	48	28
法人税等合計	1,192	1,285
少数株主損益調整前四半期純利益	1,923	2,941
少数株主利益	—	—
四半期純利益	1,923	2,941



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,923	2,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	95	△230
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	120	430
退職給付に係る調整額	—	3
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△3
その他の包括利益合計	220	200
四半期包括利益	2,143	3,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,143	3,142
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,115	4,226
減価償却費	199	197
投資有価証券売却損益 (△は益)	△25	△3
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1	△0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25	57
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△31	△5
受取利息及び受取配当金	△20	△10
支払利息	1	2
持分法による投資損益 (△は益)	△9	△1,025
売上債権の増減額 (△は増加)	△925	△1,250
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△618	△851
仕入債務の増減額 (△は減少)	622	1,040
前受金の増減額 (△は減少)	△33	79
その他	89	392
小計	2,396	2,849
利息及び配当金の受取額	28	30
利息の支払額	△1	△2
法人税等の支払額	△1,256	△1,638
法人税等の還付額	4	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,171	1,238
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△15	△20
定期預金の払戻による収入	10	17
有形固定資産の取得による支出	△92	△340
無形固定資産の取得による支出	△49	△68
投資有価証券の取得による支出	△33	△90
投資有価証券の売却による収入	77	11
貸付けによる支出	△293	△91
貸付金の回収による収入	149	122
その他	△60	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307	△457
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△473	△571
その他	△60	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△534	△616
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	262
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	383	426
現金及び現金同等物の期首残高	12,540	15,166
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,923	15,592

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	4,218	1,524	879	5,282	1,001	2,284	2,244	17,436	375	0	17,813
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	4	33	20	29	—	—	15	104	2	△106	—
計	4,223	1,558	900	5,311	1,001	2,284	2,260	17,541	377	△105	17,813
セグメント 利益	1,251	427	89	586	134	335	60	2,885	34	87	3,007

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダーの製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額87百万円には、セグメント間取引消去33百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益53百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれんの発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	4,679	1,761	866	6,536	1,013	2,255	2,205	19,318	358	0	19,678
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	83	46	17	15	-	-	13	176	2	△179	-
計	4,762	1,808	884	6,552	1,013	2,255	2,219	19,495	361	△178	19,678
セグメント 利益	1,386	500	94	764	68	239	57	3,111	16	134	3,262

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダーの製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額134百万円には、セグメント間取引消去30百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益103百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれんの発生益の認識はありません。